

ほっこり子育てひろば ニュース

ほっこり子育てひろばは、孤立しがちな保護者が、他の保護者や地域とつながり、互いに課題の解決ができるようなきっかけを提供する「親支援プログラム」です。そのため、専門職がコーディネートを行います。あくまでも保護者同士がコミュニケーションをとれる環境づくりが大切です。

平成 28 年度、各施設で様々な取組を実践し、報告書をご提出していただきありがとうございました。

平成 29 年度も、地域における開催数増加及び質の向上に向けて、各施設からご提出していただいた取組内容をニュースで紹介します。

支援者が感じた保護者の成長、生の声、事業実施に当たっての工夫や失敗談など、今後の「ほっこり子育てひろば」の運営に役立ててください。



実施施設の取組事例

離乳食 既存事業 民間保育園	
実施者の評価・ 反省 今後の課題	<p>0 歳児クラスの保育室でつながり遊びを楽しんだ後、園児と一緒に遊び交流を持つことができた。</p> <p>お昼は園の給食を食べてもらい、子どもの食事や食べさせ方について話をしながら美味しく食べてもらうことができた。とても落ち着いてよく食べてくれていたので、大変喜んでおられた。</p> <p>子どもの食事については、悩んでおられる方が多く、このような取組は有意義であるので今後も続けていきたい。</p>

子どものかかわり方 既存事業 民間保育園	
達成できたこと	保護者さんの悩み（食事・健康・あそび）を出し合い共感できた。
実施者の評価・ 反省 今後の課題	保護者の方に悩みを付せんに書いてもらい、それについて他の保護者さんがアドバイスやおうちで実践されていること等を出し合い、共感できた。たくさんの意見交流ができたのが良かった。

いつくしむ 既存事業(クラス懇談会) 市営保育所	
達成できたこと	保護者同士で自由に話をしてもらい、保護者同士をつなぐことができた。
実施者の評価・ 反省 今後の課題	「子どもの可愛い姿、場面」をテーマに話をしてもらった。普段、母だけに見せる姿を聞いたり、自分の子はもちろん他児のこともよく見てくれていて「可愛いなあ」とお互いに話しておられるのを聞き保育者も嬉しくなった。クラスの子どもたちのことをみんなで見守ってくれているんだなあと感じた。テーマの他にも、普段悩んでいることや疑問(おもちゃの量や処分する時の方法、就寝時間など)を保護者同士で質問し話しておられ、貴重な交流の場になった。

認める 既存事業(誕生会) 市幼稚園	
達成できたこと	異年齢の交流
実施者の評価・ 反省 今後の課題	どうしても子どもに対してイライラしてしまう。いいところが見つからないという年少児保護者の意見から、さまざまな意見が出され、「みんな、そうだったんだ」という少し肩の力が抜けるような感じがどの参加者にも見られた。頑張って「褒めよう」としなくても、やっていることを肯定する「認める」だったら、少しずつやっていけそうだし、子どももうれしいのではないかという意見が出て会は終わった。会が終わってからも話し込み笑顔が見られていた。

いつくしむ 既存事業(井戸端会議) こどもみらい館	
達成できたこと	子どもはかけがえのない存在・子育てに煮詰まった時は、出産時を思い出す。
実施者の評価・ 反省 今後の課題	子どもの名前に込めた思いや悩みを交流した。「子どもが一時間おきに起きて困っている」「病気をしてから甘え癖がつきどうしたらいいか」等の悩みにお互いがアドバイスを出しあった。 出産時を振り返り、大変なエピソードを話される中で、改めて母子共にかかけがえのない存在であると確認しあった。 子育ての悩みの軽減につながった。

*各施設からの実施報告書を、こどもみらい館のホームページに記載しています。

実施報告書を提出されるときに、再確認をしていただきたい箇所です。

「ほっこり子育てひろば」実施報告書（記載例）

「親子で一緒にあそぼう」を実施した場合の記載例

※（ ）内に○印を記入してください。

平成 29年 〇月 〇日

記入者 みらい花子

1つのテーマにだけ○をしてください。

実施テーマ※	<input type="checkbox"/> 赤ちゃんのいる生活イメージトレーニング <input type="checkbox"/> 離乳食 <input checked="" type="checkbox"/> 親子でいっしょにあそぼう <input type="checkbox"/> 自我のめばえと生活習慣 <input type="checkbox"/> 子どもとのかかわり方 <input type="checkbox"/> いつくしむ <input type="checkbox"/> 受けとめる <input type="checkbox"/> 認める <input type="checkbox"/> つながる <input type="checkbox"/> 歩む <input type="checkbox"/> 身につける		
実施日時	29年 〇月〇日（木） 10:30~11:30	実施場所	こどもみらい館 2階 和室
対象	地域の0歳~2歳の親子	参加人数	親 5名（子 5名）
実施者（支援者）	所属 こどもみらい館 氏名 みらい花子 合同で実施した場合の団体名		
実施にあたって※	<input type="checkbox"/> 新たに実施 <input checked="" type="checkbox"/> 既存事業で実施（事業名： 井戸端会議 ） *既存事業活用事例集を参考に <input checked="" type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> していない		
ねらいについて	達成できたこと（ 保護者同士が話をすることで、一人ひとりの子どもの育ちには違いがあることなど気付きにつながった ） 達成できなかったこと		
プログラムに*	<input type="checkbox"/> プログラムどおりに実施 <input checked="" type="checkbox"/> プログラムを変更して実施 変更した点[ワークシートやレジュメなどは使わなかった]		
実施者の反省・今後の課題	実施者としての満足度 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 不満足 ・保護者が小さい頃好きだった遊びやおもちゃについて話してもらったことで、自分自身のことを振り返り、保護者同士が楽しく話すきっかけとなった。 ・触れ合い遊びや、親子が交流できる時間を長くとることでなごやかな雰囲気ですすめることができた。		

参加人数は2名以上が必要です。

~子どもを共に育む『親支援』プログラム~
「ほっこり子育てひろば」の冊子を活用し、ほっこり子育てひろばとして実施した場合に○をしてください。

~子どもを共に育む『親支援』プログラム~
「ほっこり子育てひろば」の冊子に掲げている実施テーマのねらいについて記載してください。

既存の事業に組みこんで実施した場合に○をしてください。

~子どもを共に育む『親支援』プログラム~
「ほっこり子育てひろば」の冊子にあるプログラムどおり実施したかどうかについて記載してください。

Information

ご相談ください！
見学受付中！

こどもみらい館は、ほっこり子育てひろばの妊娠期・乳幼児期の事務局を担っています。ほっこり子育てひろばの運営や報告書の記載方法等、わからないことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

また、こどもみらい館において、ほっこり子育てひろばを年10回モデル実施しています。見学も受け付けておりますので、お問い合わせください。（定員3名）複数施設で実施する等、必要に応じて実施施設にお伺いすることも出来ます。

平成29年度実施予定モデル事業



- 平成29年 5月11日（木）離乳食
- 平成29年 6月16日（金）親子でいっしょにあそぼう
- 平成29年 7月 6日（木）自我のめばえと生活習慣
- 平成29年 9月13日（水）いつくしむ
- 平成29年10月13日（金）離乳食
- 平成29年11月20日（月）親子でいっしょにあそぼう
- 平成29年12月15日（金）自我のめばえと生活習慣
- 平成30年 1月11日（木）いつくしむ
- 平成30年 2月23日（金）自我のめばえと生活習慣
- 平成30年 3月 2日（金）離乳食

参加者にわかりやすい
「キャッチコピー」です

テーマ	キャッチコピー
離乳食	「どうして食べない？どこまで食べるの？」 *食についての悩み等を出し合いましょう
親子でいっしょにあそぼう	「いっしょにあそぶの楽しいね！あそぶのだ・い・じ」 *子どもが喜ぶあそびの交流や困っていることを出し合いましょう
自我のめばえと生活習慣	「何でも『いや！』って言うんだけど・・・」 *「生活習慣」や「いやいや期」の悩みを出し合ってみましょう
いつくしむ	「生まれてきてくれてありがとう」 *時には「しんどい」「かわいくない」と思ってしまう気持ちを出し合いましょう



平成29年4月発行

京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883
中京区間之町通竹屋町下る楠町 601 番地の 1
Tel (075)254-5001 Fax(075)212-9909
URL <http://www.kodomomirai.or.jp>